

## ボルグワーナー、R2S<sup>®</sup>過給システムにより燃費レベル向上を実現

- 2段過給システムがドイツ高級車メーカーの2.0L直列4気筒ディーゼルエンジンに採用
- 高度な技術で燃費改善と排出ガス低減を実現
- クリーンで高効率な過給技術に対する需要の高まりに対応

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frederic Lissalde)の内燃機関技術におけるグローバルリーダーとしての評価は、BMWグループの最新車両モデルのほとんどに搭載される最新 2.0L 直列 4 気筒 TwinPower Turbo ディーゼルエンジンに、当社の革新的な Regulated 2-Stage (R2S<sup>®</sup>) 過給システムが採用されていることにより裏付けられています。当製品は、低圧段に可変タービンジオメトリー(VTG)ターボチャージャーと、高圧段にウェイトゲート付きターボチャージャーを組み合わせしており、BMWグループの要求に応じて特別に設計されています。このシステムは、性能の向上、排出ガスの低減、燃費の改善を最良の組み合わせで実現できるように最適化されています。当社の技術は、厳しさを増す世界各地の排出ガス規制適合に貢献しており、欧州では Euro 6d-TEMP 基準の要件を満たせるよう完成車メーカーをサポートします。

極めて革新的なボルグワーナーの R2S 過給システムは、コンパクトなパッケージにウェイトゲート付きターボチャージャーと VTG ターボチャージャーを直列に配置しています。エンジンマップ全体にわたって最適な給気を実現し、適正な燃焼に必要な過給を維持することで、排出ガスの低減と燃費の改善を実現します。電動アクチュエータは、ターボチャージャーの案内翼を精密に調節し、タービンホイールの入り口で流入角と速度を制御します。その結果、VTG ターボチャージャーでは、タービンの断面積が継続的にエンジンの作動状態に適応して変化し、出力の最適化を図ります。この技術は、熱力学上の改善と迅速な過給圧上昇を可能にすることで、優れた過渡応答性能と瞬時の加速を提供し、走りの楽しさを大幅に向上させます。

ボルグワーナー・ターボシステムズの社長兼事業本部長のジョー・ファドール(Joe Fadool)は、「当社の業界をリードする R2S 過給システムは、完成車メーカーが排出ガスの低減と燃費の改善を実現できるようサポートします。BMW グループには当社の先進技術を 20 年にわたって供給しており、同グルー

プのほとんどの車両に R2S 過給システムを供給することを通じて、良好な関係をいっそう強化できることをうれしく思います」と述べています。



顧客それぞれのニーズを満たすボルグワーナーの R2S 過給システム

### ボルグワーナーについて

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、内燃機関、ハイブリッド、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界 19 カ国 68 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 30,000 人の従業員を擁しています。詳細については、[borgwarner.com](http://borgwarner.com) をご覧ください。

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995 年米国民事訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「もたらす」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「狙い」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」などの文言、その変形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、自動車およびトラック製造（いずれも景気に大きく左右される）への当社の依存性、大手 OEM 顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レート、与信枠、重要な管理への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、様々な損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近の Form 10-K/A 年次報告書に記載したリスク要因など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>  
ボルグワーナー広報事務局 副島、中井、佐藤  
TEL:03-3571-5326 FAX:03-3574-0316  
EMAIL : borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp